

【定款の事業名】 個人・家族の課題解決の仕組みづくり支援事業

「人が少なくなっても暮らし続けられる地域」であるためには、暮らしを支える買物や移動課題の解決がみんなの集落研究所としても改めて重要な位置づけであるため、集落支援の枠組みを超えて、持続可能な仕組みづくりに取り組む。移動・買物・交通・土地建物の活用に関して、県内のモデル的な地域・市町村・民間組織等との連携を前提として、複数の個別課題が複雑に絡み合うテーマであるからこそ、多分野にまたがる主体間の連携を重視し、各事業の調査・研究・検証に取り組む。

【事業内容】移動・買物・交通等の生活を支える機能開発に関する調査・実証研究

暮らしのインフラとしての買物や交通課題について、昨年度パイロット的に実施した Goトレの本格的な社会実装に向けて、産官学民連携の中で福祉団体や交通事業者も含めたステークホルダーとの連携を強め、介護予防・地域交通・若者の地域参加等の複数の個別課題にアプローチする。Goトレを核にしたプロジェクトが自走と持続可能な事業構築支援によって他地域での展開可能性の検証を図る。

また、中山間地域における移動販売の持続可能性についても「おもいやりの移動販売事業者協会」設立以降、事業者間での交流による情報交換等に取り組んできたが、事業継続のノウハウを有する移動販売事業者とともに、移動販売事業の継続課題や成功要因を把握し、横展開可能なモデル実証に向けた調査研究を行う。

【委託先等財源】 国土交通省助成事業及び民間助成

【実施日時】 令和8年4月1日～令和9年3月31日

【実施予定場所】 新見市、岡山県及び中国地方各地

【従事者の人数】 10人 【支出見込み額】 30,000(千円)

【事業内容】土地・建物の計画的共有や資源循環に向けた啓発・検証

これまで「少ない人口でも暮らし続けられるようにするための土地計画のあり方検討」につながるものとして、土地・建物・山林等の地域で計画的に考える共有財産化(コモン化)の可能性を自主事業として勉強会や調査を重ねてきた。昨年度から助成事務局を担い、事業開始した遺言書作成費用助成の取り組みをベースに、プロジェクト実行委員会での情報共有や土業勉強会等を通して、「遺贈寄付」の普及啓発、中山間地域における土地建物の資源循環の可能性を図る。

また、中山間地域での暮らしの維持という視点においては、耕作放棄地や管理不全空き家の増加、災害時の孤立等を想定した際に、エネルギー自給できる地域としての態勢や土地や山林を資源として活用できるしくみが重要である。民間組織と連携し、脱炭素を軸とした地域組織によるモデル的な地域活動支援を行う。地域運営組織等を中心とした地域で脱炭素による空き家活用や移動手段的確保に関する可能性の検証を図る。

【委託先等財源】 一般社団法人・NPO法人等の民間委託事業

【実施日時】 令和8年4月1日～令和9年3月31日

【実施予定場所】 岡山県内

【従事者の人数】 6人 【支出見込み額】 1,500(千円)

[定款の事業名] 集落・組織の課題解決の仕組みづくり支援事業

地域において、空き家や農地の管理、防災、福祉等、地域運営組織(RMO)等に求められる解決すべき課題が高度化・多様化している。一方で、急速な人口減少や集落組織の小人口化により、対症療法的な解決や地域主体形成の限界が再認識されており、支援のあり方の再検討が求められている。これまで自治会・町内会単位では担えなくなった課題解決を補完するため、地域運営組織や小規模多機能自治等への支援を行ってきたが、今後はさらなる人口構成変化を見据え、一步踏み込んだ支援体制の構築と実践が必要である。

各テーマごとの課題と成果を可視化し、必要に応じて担当課を越えた庁内連携を促進するとともに、加速する課題に対応するため県外の事例やネットワークとも補完的に連動し、行政等のパートナーと共に検討を進めながら、全県的な横展開や具体的なケースづくり、支援体制の構築を深めていく。

[事業内容]自治体の地域組織等支援体制の把握及び推進支援

昨年度実施した全県的な地域運営組織(RMO)の調査結果や、美咲町等での実績を踏まえ、地域運営組織の支援体制構築に向けた課題、具体的な庁内連携の支援、地域主体の課題解決との連動などのケースをもとに、担当課を越えた連携のための情報収集や地域状況の把握、地域へのアウトリーチ手法のノウハウ提供および検討支援を行う。

また、昨年度の調査などにより、地域運営組織の制度を有していない市町村や、制度化から時間が経過して現状にそぐわなくなっている市町村、あるいは制度見直しや仕組みの再構築が必要な市町村に対する支援ニーズもあがってきている。

県内においては、これまで支援が必要とされなかった市町村も含めて潜在的なニーズを掘り起こし、その支援を図る。同時に県外においても、県内市町村だけでは加速する課題のスピードに対応できない部分を補完できる事業推進を意識して、地域運営組織制度等の現状と改善点を検証し、制度設計支援や全県的なフォーラム・研修の開催、個別市町村への支援などを展開していく。

さらに、地域運営組織等が持つ課題の性質上、空き家、防災、農地等の具体的なテーマでの連携推進やその成果の可視化を意識した支援体制の構築と市町村・地域等でのモデル支援を図る。

これは、地域運営組織を有していない市町村における地域組織や地域運営への支援を考える上でも、あるいは地域主体や地域運営組織が先進的に進んでいる市町村での支援を考える上でも、共通して重要な視点である。そのため、地域と行政の双方がそれを共有できるよう意識して支援を行う。

[委託先等財源] 美咲町・鏡野町・笠岡市・岡山県・神石高原町 等

[実施日時] 令和8年4月1日～令和9年3月31日

[実施予定場所] 岡山県および市町村自治体(特に、美咲町・笠岡市・鏡野町・高梁市・津山市・神石高原町)

[従事者の人数] 10人

[支出見込み額] 19,000(千円)

〔事業内容〕 地域組織による個別課題支援体制構築の推進および支援

「人が少なくなっても暮らし続けられるまちづくり」への支援に踏み込むにあたり、地域組織による個別課題への支援とその体制構築を進める。空き家・農地・防災・福祉といった課題に対し、小集落や集落営農の範囲で対応すべき地域が存在する一方で、行政・民間サービスの維持や環境整備の観点からは、旧町村または市町村規模での広域的な検討が求められる。さらなる人口構成の変化を見据え、地域が主体的に話し合い、解決すべきテーマ（農地管理、農業の継続、空き家、防災、福祉等）に対し、より具体的かつ実践的な解決策の提供を目指す。

農地課題については、集落営農の範囲と重なることも多いため、そのうえでの多機能化のあり方や小規模でも持続可能な形、多層的な支援策を検討する。これまで県事業で培ったノウハウを活かし、個人の問題を地域課題として捉え直すことで、地域の共有財産（コモン）としての維持・管理、利活用のための人材育成やネットワーク連携を図る。また、従来之地縁組織への支援に加え、農業組織へのアプローチも実施し、農業者と非農業者が協働して地域や農地を維持するための方策を模索する。

空き家については、昨年度までの取り組みを通じて地域主体の活動が芽生えつつある中、これらを一部地域や一過性のものにとどめず、継続的かつ自走的な実践へとつなげることが重要である。そのため、これまでの事業を発展させる形で、不動産業者などの民間事業者、地域組織、および行政庁内による連携支援を実施する。あわせて、先進事例の現地視察や空き家対策に取り組む県内外の地域組織ネットワークづくり等を通じて、地域組織が主体となった運営体制や、地域との関係構築に関するノウハウ支援を行う。さらに、昨年度の取り組みで把握した「空き家改修や管理に関心を有する人材」の育成・活用、不用品買取等を活用した資金確保の仕組みづくり等についても検討を進める。他地域への横展開を促進するとともに、共有財産化（コモン化）の可能性検証も図る。

防災については、南海トラフ地震や豪雨災害等に備え、自主防災組織や防災士等を対象とした研修事業の実施、および県内地域住民同士のネットワーク構築に向け、県内支援団体と協働して支援を行う。

保育や介護等のテーマについては、旧町村・市町村規模でのサービス維持を前提とした検討が必要である。そのため、地域運営組織（RMO）の枠組みを超えた広域的な支援者間調整や制度設計の支援を行い、地域の暮らしの維持に関する研究・検証の視点を持って事業を推進する。

〔委託先等財源〕 岡山県委託事業

〔実施日時〕 令和8年4月1日～令和9年3月31日

〔実施予定場所〕 岡山県および県内集落・市町村自治体、美作県民局管内
津山市上加茂地区・笠岡市新山地区など

〔従事者の人数〕 10人

〔支出見込み額〕 18,000(千円)

[定款の事業名] 地域を支える人材の支援・育成事業

岡山県内における地域・集落支援の積み上げにより、蓄積した支援ノウハウを支援者(自治体職員、福祉や教育に関わる支援人材、中間支援者等)と共有し、支援スキルの横展開や地域を支える人材の支援・育成を行う。また、地域が主体的に取り組みたい課題やテーマに対し、高校生・大学生等のユース世代が地域課題解決に参画できる機会づくりを進める。地域資源を活かした実践的な活動や、学生・地域・行政等との連携を通じて、若者世代の地域への関心や愛着の醸成、将来的な地域づくりの担い手育成を図る。

さらに、地域側においても、若者を一時的な参加者ではなく、地域課題にともに取り組む関係人口・協働の担い手として受け入れられるよう、地域と若者との継続的な関係づくりやコーディネート支援を行い、双方にとって好循環となる仕組みづくりを進める。

[事業内容]支援者支援

笠岡市市民活動支援センターの運営アドバイスを通じた地域支援・市民活動支援のための支援ノウハウの共有化・支援チーム形成ならびに、行政庁内における連携支援体制構築や制度設計支援、地縁組織とNPO市民活動組織等との連携による課題解決支援を行う。また、県外市町村や中間支援組織からの依頼についても状況に応じて、地域に出向く際のファシリテーションの研修等を行い、支援者による対象や課題への気づきを促すための場づくり等を行う中で、支援者連携事例や具体テーマの事業活用事例などの情報収集で県内における地域支援につなげる。

[委託先等財源] 笠岡市・県外自治体

[実施日時] 令和7年4月1日～令和8年3月31日

[実施場所] 笠岡市・中国5県・岡山県

[従事者の人数] 7人 [支出見込み額]5,800(千円)

[事業内容]次世代の参画・チャレンジを支える事業

次世代参画や教育といったテーマの性質上、自組織のみで完結するのではなく、各地で深い知見を持つ外部パートナーや客員研究員とのネットワークを活用し、美作県民局地域での高校生との地域応援および関係人口に通ずる地域課題解決の取組、備中県民局地域での大学生との課題解決に向けた取組を通して、次世代の地域参画のサポートを行う。若手世代が地域課題に主体的に関わる機会を創出することで、地域への愛着形成や将来的な地域づくりの担い手育成につなげるとともに、地域にとっても新たな視点や交流人口、地域活動の好循環につながるチャレンジを支援する。自組織としてもユース世代による地域課題研究や地域参画のあり方について検討を進め、将来的な地域づくり人材との接点形成を図る。

[委託先等財源] 岡山県美作県民局・備中県民局等

[実施日時] 令和8年4月1日～令和9年3月31日

[実施予定場所] 岡山県美作県民局管内

[従事者の人数] 10人 [支出見込み額] 4,800(千円)

[事業内容]講師派遣・委員

講演、委員の派遣を行う。

[実施日時] 令和8年4月1日～令和9年3月31日

[実施場所] 岡山県全域、全国 [従事者の人数] 4人 [支出見込み額] 250(千円)